

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|------------------|------------|--|
| 事業所番号 | 1090200080 | | |
| 法人名 | 株式会社 プランドゥ | | |
| 事業所名 | グループホーム ようざん | | |
| 所在地 | 群馬県高崎市上並榎町1180番地 | | |
| 自己評価作成日 | 平成25年10月14日 | 評価結果市町村受理日 | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者が全員女性という事でお菓子作りや歌など、女性ならではのレクリエーションを取り入れている。お菓子作りは作ったものを他事業所へ販売に行き、他の事業所の利用者様との交流を図っている。また、芝生の庭でBBQを行い、ご家族との交流も図っている。外出先や食事のメニューも利用者様のリクエストに応じる事が出来るように努力をしている。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaijokensaku.jp/10/index.php |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|-----------------------------|--|--|
| 評価機関名 | サービス評価センターはあとらんど | | |
| 所在地 | 群馬県前橋市大渡町1-10-7 群馬県公社総合ビル5階 | | |
| 訪問調査日 | 平成25年11月6日 | | |

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ケアの向上を目指して管理者・職員は日々の「気付き」を大切にしている。全員が一丸となって「利用者のために良い事は何でもしよう」とする気持で支援に努めている。訪問時には職員の利用者に対する穏やかな言葉かけ、やさしい仕草、適切な声のトーンなど、利用者への接遇教育が行き届いていることが実感出来た。今後取り組んでいきたい事や工夫したい点が明確に課題として挙がっているので実現に向けて努力してほしい。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | | 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | |
|----|--|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ | 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ | 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ | 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12) | ○ | 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|---|---|--|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 法人の理念である「主権在客」とは別に事業所独自の理念を掲げユニット会議やカンファレンス、申し送りなどで個別支援に繋がっています。 | 法人の理念を掲げている。今後は分かり易い表現による事業所独自の理念も掲げたいと考えている。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 散歩等で挨拶をしたり、近所からの野菜などを頂いたりしています。また、避難訓練にも参加して頂いております。 | 散歩時の挨拶、地域の保育園児との交流、地元お寺のお祭りの見学等を通して地域との付き合いが行われている。今後ふれあいサロンへの参加を予定している。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 見学者その他家族様の悩みなどの相談に応じています。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 利用者様・家族・地域代表の意見を参考にしたり現況報告をしています。万一の災害時にも協力し合えるように、町内・事業所それぞれの取り組みを話し合い確認しています。 | 定期的に開催しており、事業所から現況報告・今後の予定・利用者の日常生活やレクレーションの様子をお知らせし、参加者による意見交換が行われている。 | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 運営推進会議や市の嘱託員である介護相談員の方々と話し合う機会を持ち参考意見にし、質の向上を目指しています。 | 法人の担当者が行政との窓口になって連携を図っている。介護相談員や傾聴ボランティアの訪問、認知症サポーター養成講座の実施、介護保険更新手続きの代行をしている。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束・施錠については全員周知し、事業所内の研修にも参加しています。リスクの高い利用者様は家族様と相談し取り組んでいます。 | 法人の方針で玄関と内側の引き戸を施錠している。身体拘束については事業所内の研修に参加して学習している。家族からの希望で車いすの安全ベルトを使用している人がいる。 | 家族と話し合いながら安全ベルトをはずす努力と利用者の自由な暮らしを支援するために玄関の施錠を解錠に向けて検討して欲しい。 |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 職員間で話し合い周知し防止に努めています。また、研修にも参加しています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 成年後見人制度を利用されている方もおり、以前には地域福祉権利擁護制度を利用されていた利用者様もおり、いつでも必要な時に活用できるようにしている。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約時に重要事項の説明やホームの環境などを知って頂き不安や疑問等について十分お答えしています。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 苦情の相談の窓口が設置しており、不満や要望に対応しています。 | 家族の来訪時やメール・電話・スカイプを利用して日常の暮らしぶりをお知らせし、家族等の意向や要望を聞いている。利用者の思いは日頃の言動から察知している。外出したいという声が出ている。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 毎月一回、代表者の出席のもとでユニット会議を開催しています。 | 毎月の会議時や職員に直接声かけをして意見や提案を聞いている。管理者に言いづらい場合はリーダーを通して思いを伝えている。職員の退職に伴い入れ替えがあり、新しい視点での意見が出て活気があり、今後も建設的な意見交換をしたいと考えている。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 勉強会の機会を設けたり、独自のテストを行い、給与水準を上げるなどし、意欲向上に努めています。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 各種の研修を受ける機会を設け実行しています。また、学術委員会という職員の技術向上を図る委員会があり、独自の技術向上研修会があります。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 協議会を通じ活動している事例発表会等で同業者との交流を図っています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|-----|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 本人と相談し使い慣れた物を事前に居室に持ち込み家庭の雰囲気を作り上げるなどし、コミュニケーションして不安を取り除くように努めています。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 見学時の話し合いや、メールを利用しながら対応しています。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 本人や家族様の思いを優先し、支援させて頂いています。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 掃除・洗濯・簡単な調理など共に作業し学び支え合う関係を築いています。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 日常生活や身体状況を密に報告し、ご家族様の力を借りて共に支え合う姿勢でいます。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 昔の友人や知人の面会時、くつろぎの空間を提供し本人の新たな情報を聞いて再訪をお願いしています。高齢になり、外出が難しくなっている方には電話をお願いしています。 | 家族等に積極的に来訪するようお願いしたことで、最近面会回数が増えてきている。買物、行きつけの美容院、近くのレストランでの食事等に出かけて、これまでの生活が継続出来るよう支援している。外出の難しい方には電話やスカイプでの会話を勧めている。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 個々の性格を共有、尊重し日々の生活で楽しみや助け合える雰囲気を作っています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|---|--|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | その後の状況を聞かせて頂いたり、ご家族が職員に会いに来て下さり、意見交換をしています。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 生活歴やアセスメントで本人をよく知り、支援出来る事から実行しています。 | 日頃から利用者の思いを聞き取り、それら情報を職員は共有している。家族等の協力で馴染みの物・嗜好・快不快に思うこと等を記入してもらっている。本人や家族等の要望は週に2回のケアマネジャー来訪時に伝え支援に繋いでいる。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 家族様からの生活歴など情報を伺い、ホームで出来るサービスの提供に努めています。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 個々のリズムやパターンを把握し、安心安楽に生活出来るように努めています。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 個々のカンファレンスで意見を出し合い、検討し、より良いケアを目指し作成しています。 | モニタリングは月に1回から3か月に1回、計画の見直しは3か月に1回から6か月の期間で行っている。体調に変化が見られた時には随時の見直しをしている。 | 特に変化が見られない場合でも、月に1度はモニタリングを行い、それに伴っての介護計画の見直しを3ヶ月毎に実施することを検討して欲しい。 |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 申し送りやケア記録で情報を共有し、家族様の報告や相談をしながら支援しています。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 家族様の状況や要望に応じて相談があれば対応しています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|--|---------------------------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 傾聴ボランティア、介護相談員の訪問、各種の慰問で協力を頂いて気分転換をしています。消防署の協力を得て避難訓練をしています。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 受診時、家族様が医師に適切な医療を受けられるように日々の体調の変化を記録し情報提供しています。 | 入居時に説明し、協力医の受診者は5名で週に1回の往診がある。緊急時にも対応している。かかりつけ医の受診は基本的には家族対応であるが職員も支援している。2名はかかりつけ医が往診している。週に1回の訪問歯科診療があり希望者は受診出来る。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 日々の記録をもとにして看護職と協力して健康管理をしています。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 本人の状態や家族様の考えも合わせて医療機関との相談に努めています。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 家族様と相談しながら、事業所で出来る事、出来ない事を説明し変化に備えています。ターミナルケアについて話し合う予定の利用者様もいらっしゃいます。 | 事業所としての看取りの方針が作成されており入居時に説明している。法人内に訪問看護ステーションがあり、家族から看取りの希望があれば関係者が話し合っ対応したいと考えている。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 全職員が普通救命講習を受け、急変時に速やかに対応出来るよう身に付けています。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 定期的に避難訓練をし、地域住民の方と連絡・協力をして頂けるようにしています。警報装置の使用方も定期避難訓練とは別に確認する機会を設けています。 | 併設事業所と合同年2回、消防署立合い(利用者、職員、民生委員参加)日中想定と(利用者、職員参加)夜間想定(通報・初期消火・避難誘導訓練)を実施。備蓄は3日分の飲料水・米・缶パン・カップラーメンがあり、カセットコンロの用意がある。誤作動時の対応マニュアルを入職者に説明している。 | 利用者と職員がいざという時に慌てずに避難ができるように訓練を重ねてほしい。 |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|--|--|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 個別の情報を元に把握し、人格を尊重した言葉かけをしています。 | 接遇委員会で利用者の対応、特に言葉遣い等話し合い、共通認識を持って支援につないでいる。利用者は人生の先輩との思いで接しているが、対応に問題があると気付いた時は職員同志で注意し合っている。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 入浴時、声かけをして今日は入りたくないとの返答に対し無理を押し付けず翌日にて対応しています。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 一日の流れをベースにひとりひとり、その人に合った対応を実践しています。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 月一回の理美容を利用したり、ボランティアの方にお化粧をしてもらっています。また一緒に洋服を選ぶ対応をしています。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 共通の献立だが、食事レクやおやつ作りを通し手作りの楽しさや食べる楽しさを支援。また、配膳や片付けなど一緒に出来る方にはして頂いています。 | 配食サービスを利用し盛り付けを職員が行う。職員は見守りし一緒に食べていない。食事レクでは家族を招待してバーベキューをした。回転寿司やラーメン屋で外食し、出張寿司やおやつ作り等でお楽しみの時間を作っている。 | 利用者と職員が同じ食事を摂り、味や分量等を代弁し、楽しい食事時間を共有して欲しい。 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 毎食のメニュー及び食事、水分量を記録し栄養が取れるように努力しており、食事も義歯の状態に応じて刻みにしたり身体の状態に応じて摂取出来る物を提供しています。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後、ご自分でハミガキが出来る方にも職員が付き最終的なケアをし、夜間には洗浄液で義歯のケアをしています。毎週一回、歯科医によるデンタルケアも受けています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 定時誘導や個々の排泄パターンで清潔を保持し自立に向け努力しています。 | 排泄チェック表により、利用者一人ひとりのパターンに合わせてトイレでの排泄を支援をしている。利用者独自の体の動きや表情を察知して、周囲に配慮して誘導を行っている。夜間は安眠を優先させるが、パターンを考慮しながら誘導もしている。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | ヨーグルトや食物繊維の多い食事の提供や医師の指導で服薬管理しています。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | 毎日の入浴日実施、身体状況に合わせて午前・午後・支援出来るように工夫しています。 | 利用者からの希望があれば毎日入浴する体制が出来ている。声かけをして入浴を促しているが、体調を見ながら無理には勧めず、翌日の支援につないでいる。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 各々の体調に合わせた昼寝やゆったりとした気分で入眠出来るように工夫しています。(利用者様ごとの快適な室温設定・寝具の工夫・湯たんぽなど) | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 症状による内服を理解し身体状況を観察し看護師に相談、医師の指示を仰いでいます。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 残存機能を活かした役割や楽しみが出来るように支援しています。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 天気のよい日は散歩やドライブなど個別対応し家族様にも協力をして頂いています。 | 日常的には近隣の散歩を楽しみながら外気に触れる機会を作っている。季節毎のお花見やドライブにも出かけている。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 基本的にはお金の所持はされていません。必要な時は立替で対応しています。家族様と相談し少額を所持されている方もいます。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 電話がくれば取次いで話して頂いています。海外に住む娘さんとスカイプを利用し、会話をして頂いています。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 壁面の飾りを季節の花など工夫し季節感を取り入れています。 | 健康体操や口腔体操をしている共用空間はテーブルが3ヶ所に配置され、ソファがある。利用者はゆっくりとくつろいでいる。利用者同士や職員と利用者との会話が聞こえてくる。騒がしさがなく不快な臭いもしない。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 大型テレビやソファを置き、自由にくつろげる空間作りをしています。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 本人、家族様と相談し必要に応じ馴染みの物品を用意して本人の安心に繋がっています。 | 身の回りの物や馴染みの品が持ち込まれて、安心して過ごせるようにとの工夫が見られる。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 居室とトイレの表示をし解り易くしています。 | | |